

なんでやねん

真剣に取り組んだ「宿題」が学力をつける

君たちの提出してくれた春休みの宿題を見ました。一人ひとりの顔が分からない状況でしたが、宿題の様子を点検することで、君たちの「やる気」が見えてきました。

点検する内に、問題集を本気で取り組んでいる生徒の多さに感動しました。先に解答集を見ないで、問題を自分で解いてから自己採点したことが、はっきり分かる作品に出会うたびに『この子は真剣やなあ〜』『真面目やなあ〜』とうれしくなりました。

その一方で、問題も読まないで解答だけを写したことが透けて見える作品もありました。「答を写すだけ」の「^{もくもく}mokumoku」なら、しんどいだけの仕事に終わるでしょう。宿題を「提出した」ことにはなりますが、しんどい思いをしても、自分の学力には結びつかない作業です。せめて、答えを写す前に、問題をしっかりと読んで答えを考えることをしてください。そうすれば、問題に対する答えを覚えやすくなります(学力をつける重要ポイントは、自分の頭を困らせることです)。

提出物を点検した
ときには、私(倉橋)
は必ず評価していま
す。提出物の評価基
^{じゆん}準は、右の「宿題や
提出物の評価基準」

宿題や提出物の評価基準	
宿題や提出物の状況	評価
与えられた課題をていねいにやりとげ、完成度の高いものになっている(後で利用しやすい)。	A
与えられた課題をやりとげ、訂正・修正がないようにしている。	B
与えられた課題をほぼしているが、修正・訂正など見直ししなければならない部分が多い。	C
与えられた課題をほぼやりとげているが、提出期限を守れない(1日程度の遅れ)。	C
与えられた課題をほぼしているが、提出期限を守れない(2日以上)の遅滞。	D
与えられた課題をしていない部分が多い。	D
与えられた課題をしていない。	E
提出を求められた課題を提出しない。	E

の表に整理した通りです(ノートの評価基準は後日に説明します)。

宿題や提出物の評価は5段階評価を基本にしますが、実際には[○]もつけます。そのため事実上の10段階評価です。また、提出物とノートの評価は、学期末などの成績処理上では「意欲」に組み込みます。「関心・態度」の評価は、別の場面で行います。

評価の結果はスタンプで表しています(A[○]の作品には特大スタンプを使います)。

A [○]	A	B [○]	B	C以下
				